

# 令和元年度 行政相談委員業務研究会 アンケート 集計結果の概要

令和2年3月18日  
研修部会

○ 出席委員数 124人（うち班別懇談出席者114人）

○ アンケート提出者 98人（回収率 79.0%）

○ 回答者の属性

(1) 性別

回答内容	回答者数 (人)	(割合)
男性	45	(54.2%)
女性	38	(45.8%)
無回答	15	

回答があった83人中、男性が45人、女性が38人。

(2) 所属支部

回答内容	回答者数 (人)	(割合)
第1～8支部	55	(66.3%)
第9～14支部	28	(33.7%)
無回答	15	

回答があった83人の中では、区部（第1～8支部）の割合が高い。

(3) 委嘱期間

回答内容	回答者数 (人)	(割合)
5年未満	23	(31.1%)
5年以上15年未満	31	(41.9%)
15年以上	20	(27.0%)
無回答	24	

○ 各問の回答状況

問1 講演「令和元年台風第15号及び第19号等に伴う防災対策の研修結果について」

回答内容	回答者数 (人)	(割合)
参考になった	90	(94.7%)
あまり参考にならなかった	5	(5.3%)
参考にならなかった	0	(0.0%)
無回答	3	

回答があった95人中、約95%が「参考になった」と回答。

問4に記載された個別意見として

・スライドの内容をレジュメとして配布してほしかった、スライドの表が見にくかった（4件）

## 問2 班別懇談会「区市町村における風水害対策とその取り組み」

回答内容	回答者数 (人)	(割合)
参考になった	85	(92.4%)
あまり参考にならなかった	7	(7.6%)
参考にならなかった	0	(0.0%)
無回答	6	

回答があった92人中、約92%が「参考になった」と回答。

問4に記載された個別意見として

- ・ 他の自治体や他の地区の状況を知ることができ、自分が住む自治体で何が欠けているのかわかったこと、他の地区の委員との意見交換は有意義など参考になった（30件以上）
- ・ 自助努力への意識を高めることやコミュニティの中での協力体制を作ることの重要性を認識した（4件）
- ・ 今回の研修は、午後からの通し研修であったが、昼食をはさんでの研修より集中でき効率的だったと思う、今後も同じようにしてほしいなど（3件）
- ・ 各地元に伝えて役立つので、本日の各班の内容や委員さんの資料をまとめてほしい（2件）
- ・ 大部屋のため、他グループの声もあり、聞き取れなかった。グループの時は個室が必要など（2件）

## 問3 今後希望するテーマ

テーマ分野等	人数(人)
防災対策関連	8
新型コロナウイルス感染症関連	5
外国人との共生関連	4
施設の活用などオリ・パラ振り返り	3
貧困対策、虐待防止など子ども関連	3
空き家対策	2
「傾聴」や「カウンセリング」など相談者目線での内容	2

複数の回答があった分野のうち、最多であったのは、防災関連（8人）であり、次いで新型コロナウイルス関連（5人）であった。

## 問4 感想、提案、その他全般的なご意見（主なもの）

- ・ 他地域との委員との意見交換は有意義であり、他地域の状況を知ることができ、参考になった。
- ・ 午後からの開催は、集中できて効率的であった。
- ・ 委員自身も避難者となり、多くの課題が明らかになった。
- ・ 公助への依存ではなく、自助努力及び小さなコミュニティでの共助が重要であることを学んだ。
- ・ 地域ごとの班編成は、共通の課題を認識できて良かった。
- ・ グッドタイミングなテーマであった。
- ・ 各委員からの資料を取りまとめてほしい。
- ・ 日ごろの備えが重要だと認識した。
- ・ 行政の取り組みではなく、相談者の目線での研修ができればよいと思う。

【問3】 今後希望するテーマ

記載内容	分野
次回も再度このテーマでお願いしたい。	防災
災害対策	防災
災害の種類ごとの対処の方法の研修	防災
防災関係をさらに進めていただきたい。	防災
災害直後からの行政手続きについて行政相談委員として知っておくべきこと、住民の方々へのアドバイス等について	防災
災害についてのテーマが続くが「東京マイタイムライン」について ワークシートを使った研修	防災
東京の災害に対する防災対策	防災
自助共助をあげるには	防災
新型コロナウイルスなどが発生したときの初動処置、隔離	感染症
新型ウイルスの対策について	感染症
新型コロナウイルス感染症について	感染症
目に見えないもの「コロナウイルス」	感染症
パンデミックに対する検証	感染症
オリンピックの反省	オリンピック振り返り
オリンピック後の東京（施設の利用状況等の研修）	オリンピック振り返り
オリンピック・パラリンピック関連	オリンピック振り返り
外国とつながる人たちとの共生のために私たちが心得ておきたいことを考える	外国人
外国人との対応、地域の住民としてどうやって係るか、仲間に入れるか	外国人
増加する外国人に対する対応、特に民泊、地域対策など	外国人
小中学生と外国人のこどもたちとの教育	子ども 外国人
片親や経済的理由を含めた貧困対策について	子ども
児童相談所が区に移管されることにより、地元での児童虐待や子ども対策の大事さがクローズアップされています。児相移管時代の子育てを考えたい。	子ども
高齢化時代の買物	高齢者
高齢者の老老介護、医療について	高齢者
高齢者対策	高齢者
空き家対策	空き家
空家対策	空き家

【問3】 今後希望するテーマ

記載内容	分野
「傾聴」や「カウンセリング」などの研修	その他
行政の取り組みではなく、相談者の方に目を移して役立つ研修ができればよい	その他
東京に確実に災害が来ると言われているのに、なぜ——極集中を許すのか。	その他
防災ばかりでなく、細かい話も。植木、ネコ対策etc	その他
相談者目線での内容を	その他
尊厳死、安楽死	その他
特に思いつきません。何でも勉強になります。	その他

【問4】感想、提案、その他全般的なご意見

今回のテーマは行政相談委員自身も避難者となり、貴重な体験だった。講演、班別懇談会ともに自分のこととして聞け、話のできたので良かったと思う。

今回の台風により、自治体、都、国それぞれの地域住民にとって課題が見つかり、この経験を活かしたい。

他地域の委員さんとの意見交流が有意義でした。

講演：防災対策の検証結果、わかりやすい説明でした。

班別懇談：他市の防止対策についての様子が聞けて、参考になりました。

地域ごとの班構成が良かったです。各班発表では、他地域の防災（水害）への危機感の違いがあるなと思いました。

他の地区の方の意見が大変参考になりました。自分の住む区の不備がわかりました。

皆様活発な意見交換ができて良かった。

出席者の深い見識があり、大変参考になった。

他区の取り組みや対策等が聞けて参考になった。

地区よっての違いが解って良かった。

他地域のいろいろの意見が聞けて良かった。

各区の取り組み方が実際わかったような気がします。

それぞれ見えてきた課題について解決していかなくはとと思いました。

各委員からのご意見などを伺う機会ができ、参考となりました。

各地区の様子がわかった。

各班発表が後半慣れてきて、まとめ方が上手になったと思います。

共通の自助、共助、防災無線が入らないことがわかったのでよかった。

下町各区の対策等を伺い勉強になりました。

積極的な意見交換ができて有意義でした。下町の荒川、墨田、台東、江戸川の委員が低い土地であることで共通の課題を共有し、話に花が咲きました。「ここには危ない！ まず逃げる！」を合言葉に、何をもって、誰と、どこへ、どの方法で逃げるのかを家族や親せきで話し合うとともに、今回の台風19号では近所の方々との垂直避難の協力について話し合ったことが良かったと思います。近所の顔の見える間柄の大切さを知りました。今後も仲良く！

危機感がみんなにあって、懇談会はとても良かった。

各区によって対策が全然違いました。他区の話聞き、話し合いができてとても参考になりました。水害のない区でも、話し合っ準備しておかなければと思いました。

19号の水害対策について台東区の委員の話聞き、各区での防災対策の取り組みや考え方の違いを感じ、自分の区の対策の参考となりました。

各区のことがわかり、とても参考になりました。

他自治体の災害対策を知ることができ、大変良かった。

班の方がよく各区市の状況を調べてきてくださり、多摩川だけではなく、中小河川、暗きょにも水害の注意が必要だということがよくわかりました。皆さんの協力に感謝です。

大変参考になる意見が出ました。今後の参考に致します。

他区の取り組み、研修について説明していただき、勉強になりました。

自治体の地形的な状況等により、取り組みの内容がかなり異なっており、最も厳しい環境下にある自治体のものをベースにして、それぞれの自治体で工夫することが望ましいと感じた。

今回テーマ「防災対策」は水害対策であり、土地の高低差の影響が大きく、地域差がそのまま危機意識の高さとなっているようです。

【問4】感想、提案、その他全般的なご意見

グループ討議では、都心と周辺区では防災の取り組みが違うことがわかりました。
風水害は、どの地域の人も大変興味のあることで、参考になりました。
本日はありがとうございました。研修部の皆様お疲れ様でした。 内容が濃く良かったです。 他市、他区の状況を知ることは有意義でした。 震災用の準備（訓練）はしているが、水害用の訓練をしていないことはどこも同じでした。異常気象怖いですね。
防災は大変みんなの関心事である。地域の違う方と話せるのは良かった。場所により避難方法、危機意識も異なり、有益であった。
各区の行政の問題点、災害時の対応と見直しについて大変多くの情報が提供され、今後も継続して論議する必要があると思いました。
各区の特色ある取り組みが聞け、自区にも参考にしよう伝えていきたい。
地域、隣近所があつての自助、共助となることの重要性を感じました。
地域によって問題が別々にあることは解かるが、対処については、自助、共助、公助であると思います。
災害対策の向上は必要だが、「自助努力」、「小さなコミュニティ」が大切。
小笠原村や大島の委員さんから、全く生活条件が異なり、毎年風速50mの台風に襲われている経験から、自助努力への意識やコミュニティの中での協力態勢が作られている等、体験談に実感がこもっているご報告があったことが役立った。キーワードは自助努力、小さなコミュニティでの共助が大切だと思った。
震災、火災に対する検討事項は多岐に渡るもの。自治町会での早急な対応が必要となるのではないのでしょうか。
班別懇談会はとても有意義でした。
グッドタイミングなテーマでした。
良かったと思う。
防災対策の知識が得られ、勉強になった。
司会者がとてもうまかった。種々の意見の取りまとめがうまい。
とても参考になり良い企画でした。
業務研究会が午後開始になったのは、とても良かった。今後できれば開始時刻を午後2時ごろにしていればありがたい。
始まりが午後が変わったが、その方がよい。
今回の研修は、午後からの通し研修であったが、昼食をはさんでの研修より集中でき効率的だったと思う。これからもこの方法が良いと思う。
本日の各班の内容をベタでよいので出してほしい。各地元に伝えて役立てるのでは。
参考資料「視点④物資調達」内での話だが、都では段ボールベッドの普及としているが、長野県上田市が導入した簡易テント「ファミリールーム」を都・各区でも検討されたらと考える。予算等もあるが、プライバシー確保、団体生活での病気、乳児～高齢者まで共同生活のトラブル回避にも役立つ。
「指定避難場所」と「避難所」の違いが分かりにくい。もっと誰が考えても解かる言葉にしてほしい。

【問4】感想、提案、その他全般的なご意見

行政の対応がまずかった。ハザードマップの活用がされてなかった。
都内の水害はせめて予防してください。
防災無線は何を言っているかわからない。これは東京都全体に言えることで、地元だけではない
SNSを使える方ばかりを想定しているが、高齢者や障害者の方々を考えて対策するようにしてほしい。
私の町会では、防災訓練を行い、都からいろいろなグッズ（簡易トイレ、夜間照明他）をいただ
東京マイタイムラインについて、もっと知りたかった。
班別懇談会の取りまとめ方があまりに雑。課題が班ごとにでたとき、その対応が図れるかの情報交換までが必要と思う。
すべて、少し参考になった。
スライドの文字が小さく、見えにくかった。
講演の前半の内容がレジュメになかったので残念でした。
講演内容の前半のレジュメ資料を配布してほしい。
パワーポイントが小さく、見づらかった。
講演 検証経過説明スライドの画面文字が小さく、後方席からほぼ見えなかったと思う（自身は前方席でも見づらかったので）
準備のやり方がわからなかった。
閉じられた空間で多くの高齢者が集まることにコロナウイルスの流行している時は不安を感じる、マスクをつけていない人も多い。
大部屋のため、他グループの声もあり、聞き取れなかった。 グループの時は個室が必要。
うるさすぎる

